

1. 決算の概要

収入（帰属収入）は、約70.6億円（前年比0.5億円減収）、支出（消費支出）は、約64.9億円（前年比約1.9億円増加）となり、帰属収支差額は、約5.6億円（前年比約2.4億円減少）となりました。

なお、今年度につきましても、「借入りに依存しない健全経営を堅持し、将来に備えて現保有資産（現預金）を確保します」の学園基本方針に従って、健全経営に努めました。

（1）消費収支の概要

【帰属収入】

法人全体で約70.6億円となり、平成22年度決算と比べ約0.5億円の減収となっています。

部門別では、大学が約57.5億円となり、前年比約3億円の減収となりました。高校（中等部を含む）は約13.1億円となり、前年比約2.5億円の増収となりました。

大学が前年比約3億円の減収となった主な要因は、以下の4点です。

補助金（私立大学等経常費補助金）の減収 約1.2億円

ICT関連補助金が特別補助金で措置されなくなったため、関連の補助金が約0.8億円減額となりました。

雑収入（退職金財団交付金）の減収 約1.0億円

専任教職員退職者が6名となり、前年（11名）に比べて減少したことにより、退職金財団からの交付金が減収となりました。

資産運用収入の減収 約0.5億円

資産運用は、現金預金のみで安全に運用いたしました。定期性預金の利率低下に伴い、資産運用収入が減収となりました。

学生生徒等納付金の減収 約0.3億円

高校（中等部を含む）が、前年比約2.5億円の増収となった主な要因は、以下の2点です。

学生生徒等納付金の増収 約0.7億円

補助金の増収 約1.8億円

生徒数が増加し、学生生徒等納付金、授業料軽減補助金共に増収となりました。

【消費支出】

法人全体で約64.9億円となり、平成22年度決算と比べ約1.9億円の増加となっています。部門別では、大学が約52.5億円となり、前年比約1.5億円の増加となりました。一方、高校（中等部を含む）は約12.5億円となり、前年

比約 0.5 億円の増加となりました。

大学が前年比約 1.5 億円の増加となった主な要因は、以下の点です。

教育研究経費の増加 約 1.5 億円

新教育研究システム更新に際し、ソフトウェア購入費（約 0.9 億円）、
パソコン等機器設定費（約 0.2 億円）及び教室改修費が主な要因です。
学生の教育改善を図るために積極的に教育投資を行いました。

高校（中等部を含む）が前年比約 0.5 億円の増加となった主な要因は、以下の点
です。

人件費の増加 約 0.3 億円

生徒数増加に対応するため、教員を増員いたしました。

【帰属収支差額】

法人全体で約 5.6 億円となり、平成 22 年度決算と比べ約 2.4 億円の減少と
なりました。収入が約 0.5 億円の減収となり、支出が約 1.9 億円の増加となっ
たためです。帰属収支差額比率は、約 8.0 % となりました。

部門別では、大学は約 5 億円、高校（中等部を含む）は 0.6 億円となりました。
高校（中等部を含む）においては、帰属収支差額が黒字転換しました。

単位(千円、%)

| 科 目 | 平成22年度 決算 | 比率 | 平成23年度 決算 | 比率 | 増減 |
|-------------|--------------|-------|--------------|-------|---------|
| 帰 属 収 入 | 7,104,859 | 100.0 | 7,056,568 | 100.0 | 48,291 |
| 大学 | 6,050,015 | 100.0 | 5,751,366 | 100.0 | 298,649 |
| 高校・中等部 | 1,054,843 | 100.0 | 1,305,202 | 100.0 | 250,359 |
| 消 費 支 出 | 6,302,394 | 88.7 | 6,494,740 | 92.0 | 192,346 |
| 大学 | 5,100,413 | 84.3 | 5,247,357 | 91.2 | 146,944 |
| 高校・中等部 | 1,201,980 | 113.9 | 1,247,383 | 95.6 | 45,403 |
| 帰 属 収 支 差 額 | 802,465 | 11.3 | 561,828 | 8.0 | 240,637 |
| 大学 | 949,602 | 15.7 | 504,009 | 8.8 | 445,593 |
| 高校・中等部 | 147,137 | -13.9 | 57,819 | 4.4 | 204,956 |

【基本金組入額・当年度消費収入超過額】

基本金組入額は、法人全体で約 5 億円となりました。平成 22 年度決算と比べ約
0.9 億円の増加となりました。基本金組入額の内訳は、第 1 号基本金に約 1 億円、
第 2 号基本金に 4 億円を組入れしました。第 2 号基本金は大学創立 50 周年記念館
建設計画に基づき、平成 26 年度まで組入れを行う予定です。

当年度消費収入超過額は、法人全体で約 0.5 億円となりました。部門別では、大学は、約 0.08 億円、高校（中等部を含む）は約 0.44 億円となりました。今年度、高校（中等部を含む）は、黒字転換しました。

単位(千円、%)

| 科 目 | 平成22年度 決算 | 平成23年度 決算 | 増減 |
|------------|--------------|--------------|---------|
| 帰属収支差額 | 802,465 | 561,828 | 240,637 |
| 大学 | 949,602 | 504,009 | 445,593 |
| 高校・中等部 | 147,137 | 57,819 | 204,956 |
| 基本金組入額 | 421,834 | 509,446 | 87,612 |
| 大学 | 414,866 | 495,727 | 80,861 |
| 高校・中等部 | 6,968 | 13,718 | 6,750 |
| 当年度消費収入超過額 | 380,629 | 52,381 | 328,248 |
| 大学 | 534,734 | 8,280 | 526,454 |
| 高校・中等部 | 154,104 | 44,100 | 198,204 |

(2) 資金収支の概要

【施設設備の整備】

教育環境をさらに充実させるために、以下の整備を行いました。

施設関係支出 約 0.5 億円

 大学教室の改修工事、高校・中等部駐輪場改修他

設備関係支出 約 0.97 億円

 内、機器備品支出（大学机・椅子購入他） 約 0.55 億円

 内、図書支出 約 0.42 億円

【特定資産の繰入状況】

今期、施設設備整備引当特定資産については、繰入のルールを設定し、

3 億円の繰入を行いました。また、高校の黒字転換に伴い、退職給与引当特定資産への繰入を 0.5 億円行いました。

特定資産の繰入額

単位(千円)

| 科 目 | 平成22年度 決算 | 平成23年度 決算 | 増減 |
|---------------------|--------------|--------------|---------|
| 退職給与引当特定資産 | 100,000 | 50,000 | 50,000 |
| 大学 | 100,000 | 0 | 100,000 |
| 高校・中等部 | 0 | 50,000 | 50,000 |
| 施設設備整備引当特定資産 | 500,000 | 300,000 | 200,000 |
| 大学 | 500,000 | 300,000 | 200,000 |
| 高校・中等部 | 0 | 0 | 0 |
| 大学創立50周年記念館建設引当特定資産 | 400,000 | 400,000 | 0 |
| 大学 | 400,000 | 400,000 | 0 |
| 減価償却引当特定資産 | 500,000 | 490,520 | 9,480 |
| 大学 | 500,000 | 490,520 | 9,480 |
| 高校・中等部 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 1,500,000 | 1,240,520 | 259,480 |